

# 「毎日が備える日」

これからの安心と安全の暮らしをつくる

# 米良新聞

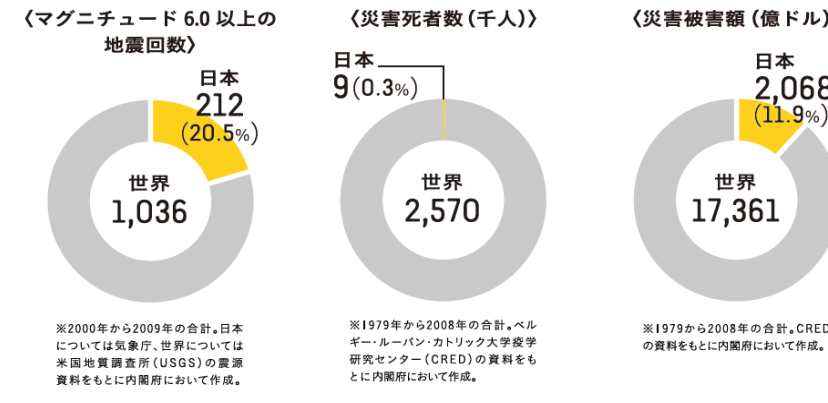
## 137

全世界で起こったマグニチュード6以上の地震の20.5%が日本で起こっています。また、災害で死亡する人の0.3%、被害金額の11.9%が日本となっています。さらに、毎年台風による被害も多い日本。1年間に平均26.4個の台風が発生し、2.9個の台風が上陸。日本は災害に遭遇する割合の高い国なのです。

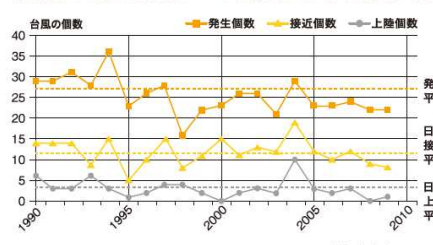
〈東日本大震災以降の地震の発生回数〉



最近、南海トラフに備えたテレビが、津波や断水、停電、火災などの被害に巻き込まれる危険性があります。自然災害大国である日本は、一度認識を！日本は自然災害大国である。もう一度認識を！日本は自然災害大国である。もう一度認識を！日本は自然災害大国である。



〈台風の発生と日本への接近および上陸する回数〉



〈阪神・淡路大震災における建物火災の原因〉

地震による停電が復旧した時、暖房機器に可燃物が接触したり傷んだコードに再び電気が流れることで起こる二次災害、それが「通電火災」。どこのご家庭でも、「通電火災」の可能性がります。

分電盤のブレーカを切ってから、避難することが大切です。

今、災害火災の原因は通電火災である！

1. 停電発生後、復旧時に電気が流れる。2. 暖房機器や冷蔵庫などの可燃物が接触。3. 傷んだコードに電気が流れる。4. 停電発生後、復旧時に電気が流れる。5. 暖房機器や冷蔵庫などの可燃物が接触。6. 傷んだコードに電気が流れる。

〈二次災害で怖いもの・心配なもの〉

- 建物・家屋の倒壊 ..... 62.9%
- 火災 ..... 53.7%
- 停電 ..... 47.5%
- 断水 ..... 47.2%
- 漏電・ガス漏れ ..... 27.5%
- 交通網の麻痺 ..... 20.1%
- 津波 ..... 15.8%
- 液化化現象 ..... 12.5%
- 土砂崩れ ..... 9.9%
- 原発や化学工場 ..... 5.8%

地震と台風で一番怖いのは二次災害です！

地震発生後、断水、停電、火災などの被害に巻き込まれる危険性があります。自然災害大国である日本は、一度認識を！日本は自然災害大国である。もう一度認識を！日本は自然災害大国である。

〈震災後、困ったこと〉

生活用水の確保 83%

取り出せる生活用水は、ポリタンク 18個分！

例えば、浴槽の水はトイレに。他の生活用水はエコキュートを利用すると、非常時の大きな助けになります。

ガス給湯機、石油給湯機、電気温水器に比べて、ランニングコストが経済的！

ランニングコスト比較	約4倍	約3倍	約3倍
家庭用ヒートポンプ給湯機	電気温水器	石油給湯機	ガス給湯機(都市ガス)

エコキュート

大震災後の断水は復旧が遅れる！

まず左表をご覧ください

地震あんしんぱん (感震ブレーカー付住宅分電盤)

感震リニューアルボックス

大きな地震の後は、気が動転。ブレーカを切る行動すらできない地震を想定し、強制的に電気を断つ備えを。

【貯電箱】蓄電池に蓄えた電気で、停電時も必要な機器が使えます。

消費電力265Wの場合。

- 液晶テレビが試聴できる。\*
- 携帯電話が充電できる。\*
- LED照明が使える。\*
- 冷蔵庫が使える。\*

電気は蓄電する生活は、停電時に不安を生むもの。蓄電池の導入で、大きな安心を備えられます。

〈東日本大震災時の停電復旧状況〉

事業者	最大停電戸数	復旧状況
東北電力	約466万戸	発災後3日で、約80%* 発災後8日で、約94%* の停電を解消
東京電力	約405万戸	発災後7日で、 全ての停電を解消

〈近年の大型台風による停電被害〉

台風	停電戸数	被害状況
平成30年台風21号	約240万戸(関西・中部等)	電柱が1,000本以上倒れ、復旧までに長時間を要した。
平成30年台風24号	約180万戸(全国)	日本列島を縦断、全国規模で停電が発生。

1週間以上電気が使えないという事態を想定しておきたいものです。

現代は蓄電池がある

地震発生後、断水、停電、火災などの被害に巻き込まれる危険性があります。自然災害大国である日本は、一度認識を！日本は自然災害大国である。もう一度認識を！日本は自然災害大国である。